

文 化

されがちだ。なぜなら、こうした神業は科学的に説明が難しいからだ。しかも現在、武術の世界で卓越した強さの人というのはあまりいないため、なほさら実感

がわからない。
だが、私はこうした神業はただその裏付けとなる身体を使い方が現代に伝わっていないために、途絶えてしまったと考える。基本となる身体の動かし方が分かれば、神業は再現できる。そう信じて、二十年近く自分の道場で稽古(げいこ)を続けている。

最近になってようやく神業の秘密につながるいくつかの術理が見つかり、その成果を「武術で拓く身体 of 思想」(合気ニユース)な現代ではこうした逸話は後世の作り話として一笑に付

ができた。
たとえば、剣道では上段から打ち込むのと下段から打ち込むのでは圧倒的に上段が有利とされている。

ほとんどの場合、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を変えらるることにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を要することにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

武の神業伝説生き返らす

◇身体の動かし方研究、道場開き実践続ける◇

甲野 善紀

◇◇◇
手ごたえのなさに秘密

武術の世界には神業と呼ばれる特殊な技を操った達人の伝説が無数にある。老人が頑強な若者を投げ飛ばしたとか、抜き身で切りつけてきた敵を後から抜いて倒したとか。しかし、現代ではこうした逸話は後世の作り話として一笑に付

ができた。
たとえば、剣道では上段から打ち込むのと下段から打ち込むのでは圧倒的に上段が有利とされている。

ほとんどの場合、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を変えらるることにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を要することにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を要することにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手



しかし、私は相手が上段に構えていても、下段の構えから先に打ち込むことができると信じて、二十年近く自分の道場で稽古(げいこ)を続けている。最近になってようやく神業の秘密につながるいくつかの術理が見つかり、その成果を「武術で拓く身体 of 思想」(合気ニユース)な現代ではこうした逸話は後世の作り話として一笑に付

ができた。
たとえば、剣道では上段から打ち込むのと下段から打ち込むのでは圧倒的に上段が有利とされている。

ほとんどの場合、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を変えらるることにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を要することにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

を要することにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を発揮しにくくなる。現実には柔道の世界選手権などで代前半の彼らを軽くひねったものだから、彼らは仰天していた。彼らが口をそろえて言うのは、不思議な手

日本経済新聞

1996年(平成8年)2月23日

くした動作が消えて、動きは格段に速くなるのだ。
◇◇◇
ほとんど動きが速く
私が武術の道に足を踏み入れたのは二十歳過ぎ。武術の心得はなかったが、ある日、「人間の運命は決まっているのか」という疑問がわいた。人間にとって自然とは何なのか。自分の身体の可能性を突き詰めた。最初は合気道に入門、続いて剣術を修めた。三十歳を前に自分の道場を開き、以後古武術を独自の解釈で研究してきた。
私の道場に来ているのは二十一〜三十代の男性が大半。空手や合気道、剣道などさまざまな武術の経験者がいる。いろいろな格好の生徒さんが思い思いに自分の技を磨く。掛け声や号令は一切なし。強くなりたい。強くなるための道場ではない。あくまでも純粹に稽古をし、伝説の神業を体験するための実験室だ。
そのかいあって基本的な術理自体が毎日のように進化している。私自身もほとんど動きが速くなっている。日本武術の流れをさかのぼる試みはまだ始まったばかりだ。(この・よしの)武術稽古研究会松聲館主宰